

南風 2023

あしたは もっとたかく
～笑顔と本でいっぱい学校～

2023南中学校通信

第6号

令和5年9月1日

校長 齋藤 孝太郎

中体連三泗地区予選・県大会・東海大会等 結果

●中体連 三重県大会結果 7月25日(火)～8月2日(水)

- 【ハンド男】 7月25日(火)・26日(水) 於：四日市総合体育館
2回戦 対 朝明中 33-15 勝利 準決勝 対 亀山中 25-23 勝利
決勝 対 菰野中 20-30 惜敗 準優勝 東海大会出場
- 【ハンド女】 7月25日(火)・26日(水) 於：四日市総合体育館
1回戦 対 亀山中 20-8 勝利 2回戦 対 北勢中 22-10 勝利
準決勝 対 白子中 10-12 惜敗 第3位
- 【剣道女】 団体戦 7月26日(水) 於：AGF鈴鹿体育館
1回戦 対 尾鷲中 3-2 勝利 2回戦 対 久居東中 0-4-1 惜敗 ベスト16
- 【剣道男】 団体戦 7月26日(水) 於：AGF鈴鹿体育館
1回戦 鳥羽東中 1-4 惜敗
個人戦 7月27日(木) 於：AGF鈴鹿体育館
1名が出場しました。3回戦 対 嬉野中 惜敗
- 【柔道男】 団体戦 7月26日(水) 於：亀山市西野公園体育館
1回戦 対 赤目中 2-3 惜敗
個人戦 7月27日(木) 於：亀山市西野公園体育館
男子個人階級別に4名が出場しました。惜しくも入賞ならず
- 【柔道女】 個人戦 7月27日(木) 於：亀山市西野公園体育館
女子個人階級別に5名が出場しました。1名が第3位に入賞
- 【卓球男】 団体戦 7月30日(日) 於：三重交通Gスポーツの杜伊勢体育館
予選一次リーグ ①対 光陵中 3-2、②対 紀北中 3-0、③対 御浜中 1-3
予選二次リーグ ①対 三重大附属中 2-3、②対 矢淵中 2-3 ベスト8
個人戦 7月31日(月) 於：三重交通Gスポーツの杜伊勢体育館
2名が出場しました。①3回戦 対 二見中 1-3 惜敗、②2回戦 対 三重大 0-3 惜敗
- 【卓球女】 個人戦 7月31日(月) 於：三重交通Gスポーツの杜伊勢体育館
1名が出場しました。①2回戦 対 厚生中 0-3 惜敗
- 【陸上】 7月22日(土)・23日(日) 全日本中学生通信陸上競技三重大会 於：スポーツの杜伊勢
男子3年1500m 第1位(東海大会出場)、男子2年1500m 第2位(東海大会出場)
男子400mB 第4位、女子100mB 第4位
- 【社会活動】 テニス 7月27日(木) 於：四日市テニスセンター
男子シングルス戦 準優勝 東海大会出場
水泳 7月26日(水)、27日(木) 於：三重交通Gスポーツの杜鈴鹿水泳場
女子200mバタフライ決勝 2分27秒17 第2位
女子100mバタフライ決勝 1分06秒09 第3位 東海大会出場 優秀選手



●東海大会結果 8月5日(土)～8月10日(木)

- 【ハンド男】 8月7日(月)、8日(火) 於：四日市市総合体育館
1回戦 清水東HC 26-19 勝利 準決勝 扇台中 9-36 惜敗
代表決定戦 対 菰野中 24-31 惜敗 第3位
- 【陸上】 8月8日(火) 於：スポーツの杜伊勢陸上競技場
男子2年1500m決勝 4分21秒98 第8位
男子3年1500m決勝 4分17秒76 第7位
- 【社会活動】 テニス 8月7日(月)、8日(火) 於：東山公園テニスセンター
男子シングルス戦 第3位 全国大会出場
水泳 8月10日(木) 於：スポーツの杜鈴鹿水泳場
女子100mバタフライ決勝 1分05秒33 第7位



●全国大会結果

- 【社会活動】 テニス 8月20日(日) 於：香川県総合運動公園テニス場
第50回全国中学生テニス選手権大会
1回戦 対 秦野市立北中学校 3-6 惜敗



●その他大会等結果

【陸上】7月29日(土)第39回三重県選抜陸上大会 於：スポーツの杜伊勢陸上競技場
男子1500mタイムレースに3名の選手が出場しました。
4分13秒75(第1位)、4分15秒06(第2位)、4分21秒87(第3位)

【吹奏楽部】8月6日(日)於：三重県文化会館 三重県吹奏楽コンクールA編成の部
課題曲：ポロネーズとアリア～吹奏楽のために～ 自由曲：交響的断章 金賞

【社会活動】8月26日(土)三重県中学校学年別水泳大会 於：スポーツの杜鈴鹿水泳場
女子100mバタフライ 第1位 大会新記録
女子100m平泳ぎ 第3位、女子100m自由形 第4位

●三泗地区新人大会 8月22日(火)

【社会活動】水泳 2年女子100mバタフライ 1分07秒54 第1位 大会新記録
2年女子50mバタフライ 30秒29 第1位 大会新記録

●三泗地区予選大会結果

【陸上】8月24日(木)、25日(金) 於：四日市市中央緑地公園陸上競技場
男子800m 第1位、第2位、第4位(3名が県大会出場)、女子200m 第2位(県大会出場)
男子200m 第3位(県大会出場)、女子走高跳 第4位、男子800mB 第1位
男子3000m 第5位、第8位(2名が県大会出場)、男子400m 第3位、第6位(2名が県大会出場)
女子走幅跳 第7位、男子100m 第7位(県大会出場) 女子100m 第3位(県大会出場)
男子100mB 第4位、女子100mB 第8位、男子低学年4×100mR 第6位
男子4×200mR 第3位(県大会出場)、女子4×100mR 第3位(県大会出場)
男子総合の部 第3位、女子総合の部 第5位、男女総合の部 第4位

●三重県競技力向上対策本部より

男子ハンドボール部より2名、女子ハンドボール部より2名、社会活動部(水泳)より1名が「チームみえジュニア指定」を受けました。

生徒たちの大会で勝利を目指してひたむきに戦う姿は頼もしく、学校だけでなく学校周辺の地域に大きな活力をもたらしてくれるような頑張りをを見せてくれました。なお、県大会以上の各部の個人戦、団体戦の結果詳細は三重県中学校体育連盟のホームページに掲載されておりますので、そちらでもご確認ください。

努力は決して自分を裏切らない! ~北口 最終投で逆転~

ブダペストで開催された陸上の世界選手権第7日(8月25日)女子やり投げ決勝で、北口榛花(きたぐちはるか)選手が66m73をマークして世界一に輝き、女子のトラック&フィールド種目で日本人初めての金メダルを獲得しました。

北口榛花選手は、小学校時代はバドミントン、中学校時代は水泳(ショートスプリント:自由形)に打ち込んだとのこと。高校生となり学校の部活動には入らず地域のクラブで競泳をするつもりだったのが、毎日のように陸上部の先輩や同級生に「見学だけでいいから」としつこく誘われ、「水泳と両立でよかったら」と陸上部に入部を決意しました。しかし、両立はとても大変で、特に土日となると朝から水泳、濡れたまま陸上の練習へ行き、練習後は再びプールに戻るといった様子だったとのこと。転機となったのは、水泳で全国標準記録を突破できず悩んでいたころ、1年生の秋の全国大会でやり投げに出場し第3位になったことで、陸上(やり投げ)に専念することになりました。実は、小学校時代に取り組んでいた「バドミンントンの腕の振り方」がやりを投げる時に活かされていました。陸上世界選手権のやり投げは、6回投げて1番良い記録を競うのですが、5投目を終えて4位で最終投を迎えました。



【メダルを目標に掲げて臨んだ大会。メダルといってもやっぱり金メダルが欲しい。】【本当につらいこともたくさんあったし、あんまり今日は冷静に振り返れませんが「世界で一番になれる」と信じてこの競技を選んでよかった。】【自信はあったし、誰にも負けたくなかった。自分が必ず歴史をつくと決めて、ここにやってきた。】

6投目、思うようにいかなかった1~5投目から、投げ出す角度を修正。大きく描いた放物線に「絶対自分が1番になる」との思いを乗せ、初制覇を成し遂げました。

具体的な目標を立て、毎日コツコツと練習を積み重ね、自分に自信が持てるだけの取り組みを行ってきた結果だと思えます。「努力は決して自分を裏切らない」といいますが、ここぞという場面でその力は発揮されるのです。インタビューの中で「本当につらいこともたくさんあった」とこたえています。おそらく、一人の力だけでなく周りの支えもあったのだと思います。皆さんも目標を定め、いろんなことにチャレンジしてほしいと思います。

【↓南中HP】

